



## 目次

### 9月定例会

- コミセン多目的ホールにエアコン設置 ..... P 2
- 討論、賛否の分かれた議案、討論 ..... P 4 - 5
- 村政を問う！〔一般質問〕 ..... P 6 ~ 13
- 12月定例会日程（予定）／マイストーリー ..... P 14



## 9月議会 あらまし

※全議案の議決結果はホームページでご覧いただけます。



令和4年第3回定例会（9月議会）は、9月1日に開会し、9月27日までの会期で開催しました。一般質問は9月9日から13日の3日間、14人の議員が質問を行い、また、14日から21日にかけては、予算決算委員会で補正予算と決算を審査し、9月27日に議案審議を行い閉会しました。

議案審議では、主に新型コロナウイルスオミクロン株対応ワクチン接種費を含む一般会計の補正予算など村長提出の議案32件すべてを可決しました。なお、令和3年度決算は、一般会計・特別会計・企業会計すべての決算を認定しました。

また、請願2件を審査し1件を採択、1件を不採択としました。

議

会

ト

ピ

ッ

ク

ス

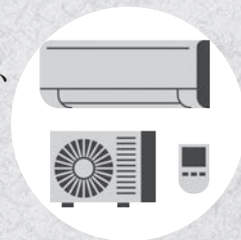
補正  
予算

一般会計補正予算では、電気料金の高騰分に係る公共施設の電気料やコミュニティセンター多目的ホール空調設備設置工事費などの追加費用が計上されました。

# コミセン多目的ホールに エアコン設置

利用者の熱中症対策とともに、良好な利用環境の確保を目的とした空調設置工事（エアコン）を実施します。エアコンは、石神、村松、白方、真崎コミュニティセンターに設置され、令和5年夏から供用開始を予定しています。

○コミュニティセンター多目的ホール空調設備設置工事 4,800万円



# 公共施設電気料を増額補正

委託契約先の変更による基本料金の変更があったことに加えて、燃料費の高騰による電気料の値上げが続いていることから、役場庁舎や総合福祉センター絆、小・中学校などの公共施設の電気料が増額となりました。

○電気料（全施設合計）

1億3,800万円（年間使用見込み額 3億5,200万円）



# 村のお金の使い方を **check!** 令和3年度決算を審査しました

9月議会では、前年度の決算（歳入・歳出の実績）について審査をしました。  
決算審査とは、議会が決定した予算について執行状況の実績や効果を審査・評価することです。当議会では一般会計予算決算委員会と特別会計予算決算委員会に分けて、委員会に付託して審査します。委員会が出された決算に対する意見の一部を紹介します。

## 一般会計

歳入 歳出  
**208億円 / 195億円**

## 特別・企業会計

国保／介護／水道／病院など **全10会計**

### 意見と今後留意すべき事項

- 管理職を含む職員の時間外勤務削減、年次休暇取得向上に向けて、引き続き改善を図ること。
- RPA\* 導入が職員の負担軽減につながっている。導入拡大で更なる改善を図ること。
- DX\* 対応については、端末機器操作などのサポートにおいて一層の対策を図ること。

### 意見と今後留意すべき事項

- インフラ長寿命化計画のもと、配水管の耐震化及び計画的な補修を進め、盤石な水道事業の構築を求める。
- 東海病院の歯科等が廃止となり、外来患者の減少が見られる。医師の確保を図り、地域医療の充実を求める。また、一般会計からの繰出金の縮小に努めること。



スマホ教室で住民もデジタル対応



水道管布設工事中

反対

### 認定第1号

感染症対策として村独自のPCR等検査や、全村民に確実に届く生活支援もなかった。決算年度末に76億円を超えた財政調整基金は、村の特色として給食費無料化や、ランドセル支給等で、十分に住民生活を支援すべき。

大名美恵子 議員

### 認定第2号

そもそも構造上に問題がある制度で、未収額等からも被保険者にとって負担しきれない税率だったと言える。国庫負担の大はば引き上げを求め、村としても国保税を引き下げて安心できる国保、社会保障へ転換が必要。

### 認定第3号

保険料の引き上げは無かったものの、所得割8.5%、均等割46,000円という設定や、賦課限度額64万円での執行は、後期高齢者の生活を圧迫する高水準であった。高齢者を年齢で差別する本制度は廃止すべきである。

### 認定第4号

第1号被保険者保険料が5,000円のままだったことは反対しない。地域包括支援センターを2か所にするに当たり民間委託化の決定は、国の社会保障削減路線を走りだしたこととして容認できない。



# 討論

**討論とは…** 自分の意見（賛成または反対）を表明し、その意見に反対する議員、賛否の意思を決めていない議員を、自分の意見に賛同させることを目的に行うものです。

## 請願第 4 - 3 号

賛成

大名 美恵子 議員

個人の思想、行動、交友関係などの個人情報監視・報告の対象に含まれる可能性が高く、内心の自由という最も重要な基本的人権を侵害しかねない。また、「政府の裁量次第」という危険な運用を許すことはできない。

賛成

阿部 功志 議員

「調査範囲が思想信条等まで及び恐れがあるというだけで法律の廃止を求めることに賛同できない」と否定されるが、優先すべきは国家か国民か、が論点。少数者の抑圧・排除という国家の暴力性こそが危険なのだ。

## 認定第 11 号

反対

大名 美恵子 議員

農業者数減少の解決は国の責任で行われるべきこと。農業共済組合の大規模広域化は「真に農業経営の安定化を補償する組織」になれるのか疑問。組合を解散し残金の市町村分配は認められない。

## 議案第 132 号

反対

大名 美恵子 議員

3年半前に料金改定の話が上がったときに、コロナ禍のためだったのか準備は整えたが改定せず今日までできた。ではなぜ今回一気に50円もの引き上げなのか。納得のいく説明はない。改定せず汲取り事業者支援を行うべき。

## 議案第 133 号

賛成

光風会 江田 五六 議員

照沼小の口腔ケア事業を評価。今後、全小学生への拡大を。石神・村松・白方・真崎の多目的ホールへの空調設備工事は反対しないが、温暖化などの問題を考えると、運用・活用・再生可能エネルギー利用などの対策が必要。

## 委員会レポート



## 原子力問題調査特別委員会

## 東海第二発電所の工事状況を確認



現在、原子力問題調査特別委員会では4件の請願を審査しています。その調査の一環として、8月5日に日本原子力発電株式会社東海第二発電所の安全性向上対策工事

の状況を視察しました。今後は、「エネルギー政策」、「新規制基準」、「広域避難計画」、「放射性廃棄物」について参考人から説明を聞き、調査を行っていく予定です。



## 各議員の賛否（議案などで賛否の分かれたもの）

| 議員名<br>議案等名 | 新政とうかい |       |       |       |       |       |       |       |       |      | 光風会   |       | 公明党  |       | 村上 孝 | 阿部 功志 | 結果 |       |    |
|-------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|------|-------|------|-------|----|-------|----|
|             | 飛田 静幸  | 舛井 文夫 | 大内 則夫 | 越智 辰哉 | 河野 健一 | 武部 慎一 | 吉田 充宏 | 寺門 定範 | 笹嶋 士郎 | 三上 修 | 江田 五六 | 恵利 いつ | 岡崎 悟 | 植木 伸寿 |      |       |    | 大名美恵子 |    |
| 請願第4-3号     | ×      | ×     | ×     | 議長    | ×     | ×     | ×     | ×     | ×     | ×    | ×     | ○     | ×    | ×     | ○    | ×     | ○  | 不採択   |    |
| 議案第132号     | ○      | ○     | ○     |       | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○    | ○     | ○     | ○    | ○     | ○    | ×     | ○  | ○     | 可決 |
| 議案第133号     | ○      | ○     | ○     |       | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○    | ○     | ○     | ○    | ○     | ○    | ×     | ○  | ○     | 可決 |
| 認定第1号       | ○      | ○     | ○     |       | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○    | ○     | ○     | ○    | ○     | ○    | ×     | ○  | ○     | 認定 |
| 認定第2号       | ○      | ○     | ○     |       | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○    | ○     | ○     | ○    | ○     | ○    | ×     | ○  | ○     | 認定 |
| 認定第3号       | ○      | ○     | ○     |       | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○    | ○     | ○     | ○    | ○     | ○    | ×     | ○  | ○     | 認定 |
| 認定第4号       | ○      | ○     | ○     |       | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○    | ○     | ○     | ○    | ○     | ○    | ×     | ○  | ○     | 認定 |
| 認定第11号      | ○      | ○     | ○     |       | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○    | ○     | ○     | ○    | ○     | ○    | ×     | ○  | ○     | 認定 |

○…賛成

×…反対

※議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します。

## 賛否の分かれた議案などの名称と要旨

|         |                                                                                   |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 請願第4-3号 | 「重要施設周辺及び国境離島等における土地等の利用状況の調査及び利用の規制等に関する法律の廃止を求める意見書提出」を求める請願書                   |
|         | 重要施設周辺及び国境離島等における土地等の利用状況の調査及び利用の規制等に関する法律の廃止を求めるもの                               |
| 議案第132号 | 東海村廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について                                              |
|         | 物価の上昇等によるし尿処理手数料の見直しに伴い、従量制のし尿処理手数料を改定するもの                                        |
| 議案第133号 | 令和4年度東海村一般会計補正予算（第4号）                                                             |
|         | 電気料金の高騰に係る公共施設の電気料及びコミュニティセンター多目的ホール空調設備設置工事の経費等のほか、令和3年度実質収支の確定に伴い、必要な予算措置を講じるもの |
| 認定第1号   | 令和3年度東海村一般会計歳入歳出決算の認定について                                                         |
| 認定第2号   | 令和3年度東海村国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について                                                 |
| 認定第3号   | 令和3年度東海村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について                                                  |
| 認定第4号   | 令和3年度東海村介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について                                                   |
| 認定第11号  | 令和3年度茨城北農業共済事務組合歳入歳出決算の認定について                                                     |

### 請願審査の状況

| 請 願 名                                                   | 付託委員会                  |
|---------------------------------------------------------|------------------------|
| 請願第3-2号 日本原子力発電株式会社東海第二発電所の再稼働について意見書提出を求める請願           | 原子力問題調査特別委員会付託<br>継続審査 |
| 請願第3-7号 日本原子力発電株式会社東海第二発電所の再稼働について意見書提出を求める請願           |                        |
| 請願第4-1号 日本原子力発電株式会社東海第二発電所の燃料装荷に始まる再稼働に反対する意見書の提出を求める請願 |                        |
| 請願第4-2号 日本原子力発電東海第二発電所の再稼働に反対する請願                       |                        |

# 村政を問う!

## 一般質問

※青字の質問を掲載。  
※議会ホームページでも  
ご覧いただけます。

東海村議会

検索



### 武部 慎一 議員 P.7

- 1 公共インフラの老朽化と更新について
- 2 学校における教職員の働き方改革  
教職員の ICT 活用が重荷とは
- 3 **学校における働き方改革 学校教育の一環としての部活動外部委託について**
- 4 高齢化に伴う人材活用について

### 寺門 定範 議員 P.7

- 1 **まちづくりにおける村民との対話について**
- 2 東海スマートインター・外宿地内避難道路の整備について
- 3 農業法人設立の検討状況などについて

### 恵利 いつ 議員 P.8

- 1 **クリーンセンターへの可燃ごみ直接搬入の予約制導入に伴う住民への影響は**
- 2 **水道事業の現状と今後の展望**

### 岡崎 悟 議員 P.8

- 1 **子どもの弱視対策について**
- 2 コミセンへの自動販売機設置について
- 3 本村の平和教育の取組について
- 4 コロナ禍での AED 活用について

### 阿部 功志 議員 P.9

- 1 安倍氏「国葬」に対する村の対応と見解は
- 2 非常時における通信機能障害対策は
- 3 積水メディカル放射性廃液漏洩問題の事後点検は
- 4 可燃ゴミ集積所の実情と改善策は
- 5 **7基の原発再稼働を目指す政府方針に村長の見解は**

### 大内 則夫 議員 P.9

- 1 **久慈川沿いへの洪水避難タワー建設について**
- 2 **真崎古墳群南斜面買収について**
- 3 コミュニティセンターと集会所への Wi-Fi 設置について

### 植木 伸寿 議員 P.10

- 1 コミセン多目的ホール空調設置への進捗は
- 2 とうかいまるごと博物館事業の取組状況は
- 3 **孤立、ひきこもり対策の状況は**

### 村上 孝 議員 P.10

- 1 **新川を県管理とする取組について**
- 2 統合ありきの教育行政の取組について
- 3 **下水の汚泥について**

### 三上 修 議員 P.11

- 1 隣接市と連携した防災施設の整備
- 2 **村の価値を高める自治会活動支援**
- 3 農業実習生受入れの支援による農業振興
- 4 東海村第6次総合計画の進捗状況の確認

### 江田 五六 議員 P.11

- 1 **デジタル化社会における個人情報保護について**
- 2 混沌とした社会での行政の在り方について
- 3 デジタル社会対応のための人材活用

### 飛田 静幸 議員 P.12

- 1 教育支援センター（たんぽぽ）について
- 2 高齢者や障がい者の駐車場の整備について
- 3 **ネーミングライツの導入について**

### 舛井 文夫 議員 P.12

- 1 村県民税・後期高齢者医療保険料の決定手続きについて
- 2 国内における姉妹都市について
- 3 **東海駅西土地区画整理事業の清算状況について**
- 4 市街地の拡大について
- 5 舟石川小学校校庭の植木について

### 大名 美恵子 議員 P.13

- 1 安倍晋三元首相の「国葬」について
- 2 学校における生理への取組について
- 3 積水メディカル株式会社による放射性物質漏洩について
- 4 岸田首相の GX 実行会議における既存原発の再稼働加速表明について
- 5 **6市村懇談会の存在意義の発揮を求める**

### 河野 建一 議員 P.13

- 1 **広域避難計画策定について**
- 2 コロナ禍での消費喚起策（事業者支援）について
- 3 「ホッケーのまち TOKAI」の取組について





## 問 学校の部活動 外部委託について

### 答 人材確保、費用負担等、課題山積



新政とうかい  
たけべ しんいち 議員  
武部 慎一

**問** 国の「学校の働き方改革」には、「部活動は教職員の献身的勤務に支えられ、必ずしも教職員が担う必要の無いもの」、「生徒指導等に意欲を有する地域人材の協力の下で地域が支えて行くのが望ましい」との記載。「学校教育の環境としての活動」であるなら法令や学習指導要領等の定義を明確にしてから部活動外部委託を進めるべき。教職員の多忙解消は理解するが、生徒や家庭の混乱は免れない。また、地域格差の拡大や費用負担等、今後の考えを伺う。

**答** 国は令和5年度から地域部活動を段階的に導入し、令和7年度末までに完全移行を求めているが、地域による大きな差が生じている。村では昨年度から検討を進めているが、受け皿となる運営主体や休日の指導等を担う地域人材の確保、費用負担等、課題が山積み。今後、学校関係者や協力団体等との意見交換や生徒の思いや願いをくみながら、ある程度具体的な方向性が固まった段階で、東海村の方針を示したい。



学校の働き方改革の一環として部活動外部委託が進められる

## 問 広聴業務の強化が必要ではないか

### 答 新たにタウンミーティングを実施



新政とうかい  
てらかど さだのり 議員  
寺門 定範

**問** 村からの情報を発信する広聴業務に合わせ、村民の声を聴くという広聴業務も大切であり、広聴の強化が必要ではないか。

**答** 広聴業務の強化の必要性は認識しており、これまでの取り組みを推進しつつ、今年度は新たな取り組みとして、「タウンミーティング」の準備を進めている。この目的は、テーマを決めて、村長と村民の直接対話により、村政に対する村民の意見等を幅広く聴取し、まちづくりなど今後の村政運営に活かすことである。

**問** 今年度の「タウンミーティング」のテーマを伺う。また、昨年度の「自分ごと化会議」に参加した住民とつながりを継続するため、運営スタッフとしての参画について考えを伺う。



昨年度開催された「自分ごと化会議」

**答** 今年度は、「まちづくりと原子力」をテーマにしていきたい。「自分ごと化会議」の参加者のタウンミーティングへの参画については、さらにいろいろな場面で活躍してもらいたいと思っており、参画の方法等も含めて検討している。

## 問 水道広域化、 メリットはあるのか

答 県は広域、事業の一元化を目指す

**問** 「水」は、住民の暮らしと健康に直結する大切なもの。国や県の方針とはいえ、安易に広域化を進めるべきではないと考えるが。

**答** 令和3年度策定の茨城県水道ビジョンでは、30年後の姿を「1県1水道」に。県主導で経営一本化へ向けた地域部会が開かれ、現状整理を開始した。

**問** 東海村には、久慈川河川水と県中央広域水道（那珂川）の2つの水源がある。災害時にも強い。住民不在の計画とならないように取り組むべき。



光風会  
恵利 いつ 議員



久慈川を水源とする石神浄水場  
他に県中央水道ともつながっている

**答** 水道の安心安全は、住民生活に大きな影響を与える事項である。住民の意見反映が原則と考えている。

**問** ごみ予約制導入、住民への影響は

**答** 周知徹底で徐々に収束と見込む

**問** 土曜日の予約枠から外れた人への対応は、村の清掃センターで一時的に予約できないか。

**答** 予約が空いている日や予約不要な平日・祝日を案内。一定期間の状況を見て、対応を協議・検討する。

## 問 3歳児健診 屈折検査機器導入を

答 今年度内導入を目指し取り組む

**問** 「屈折検査機器」は、1メートル離れた場所に座った子どもが数秒間、検査機器の光を注視するだけで、①近視、②遠視、③乱視、④斜視などの測定ができるものである。その結果、精密検査が必要な子どもを、より早い時期の治療につなぐことができる。3歳児健診で「屈折検査」の導入を求める声がある。本村の考えを伺う。

**答** 子どもの視覚機能は、3歳ごろまでに急速に発達し、6歳から8歳ごろまでにほぼ完成することから、視力



公明党  
おかざき さとる 議員

の判定がある程度可能となる3歳児健診において弱視等を発見し、小学校低学年までに適切な治療を受けることが弱視対策として重要である。そこで屈折機能や斜視等の発見につながる眼位の異常を簡単にスクリーニングできる「屈折検査機器」による検査の導入が必要と考える。現在、国は各種検診に必要な備品の整備の支援をしていることから、国庫補助金を活用し、「屈折検査機器」の今年度中の導入に取り組む。



屈折検査機器を用いると、3歳児の視力検査が充実



## 問

# 原発再稼働の 政府方針への見解は

## 答

### 村としての責任を果たしていく

**問** 8月24日に突然政府は、東海第二を含む原発7基の再稼働を目指す方針を示した。新増設をしない政策を転換し、地域の状況や住民の意向を無視して先の見通しもないまま願望を語った形で、批判にさらされている。「いつどこに」の計画もなく小型原子炉を造るとか、80年まで延長とか稼働していた時間だけで運転期間を計算するなど、国民の命を守ることを優先せず、地元にも圧力をかけようというのか。電力ひっ迫は無策を続けてきた政府



あべ 功志 議員



工事が進む東海第二原発  
工事終了は2024年9月予定

と電力会社の責任。あえて電力ひっ迫を宣伝して原発依存の気持ち国民に起こさせようという意図か。6市村長の原子力所在地域首长懇談会の反応は。この先、理不尽な圧力が村にかかってくるかもしれないことも含めて、村長の見解は。

**答** 原子力所在地域首长懇談会ではこの件は心当たりがない。立地地域ごとの事情があるので、直接住民と接する私としては、これまでも同様、村民の安心・安全を第一に、自らの責任を果たしていく。

## 問

# 洪水避難タワーを 建設しては

## 答

### 様々な課題があり検討していない

**問** 真崎古墳群南斜面

**問** 日立市では、久慈川と支流の茂宮川の氾濫で逃げ遅れによる人的被害を防ぐため、今年5月に高さ9.7m、100人収容できる洪水避難タワーを神田町に建設した。久慈川沿いの住民の危機意識は強い。洪水避難タワーを建設してはどうか。

**答** 洪水避難タワーは逃げ遅れた場合の緊急避難時に一定の有効性はあるが、用地の確保や財源、建設後の運用面に課題があり現時点では検討していない。



新政とうかい  
おおうち のりお 議員  
大内 則夫



日立市神田町に完成した洪水避難タワー

**答** 地域の声を聞きながら進めていく

**問** 令和2年には前向きな答弁があった。その後2年半の間に住民の整備により、ミカンやブルーベリー、水芭蕉等が植栽され散歩に訪れる方も多くなった。買収の考え方は。

**答** 真崎自治会や各種団体の意見を伺いながら将来ビジョンを共有し、整備活用の方針が定まり、具体的な計画として進める中で土地取得の必要性についても改めて協議したい。

## 問 孤立など福祉対策の 取組状況は

### 答 アウトリーチなど整備に努める



公明党  
植木 伸寿 議員

**問** ひきこもりは、安心できる場所に退避する状態と言われている。福祉サービスを必要とする方の早期発見、介入が図れていると考えるが、孤立ひきこもりへの支援は。

**答** 本年度から「重層的支援体制整備事業」として、「断らない相談支援」「参加支援」「地域づくり」を中心に、支援が必要な方を地域全体で支える事業を開始した。さらに、相談場所の分らない人や複合的課題の窓口として総合相談支援課を開設した。社会福祉協議

会でも、民生委員の力を借り地域で支援が困難な方の調査を実施している。今後は、積極的なアウトリーチを行い地域社会ともつながりながら理解促進に取り組む。

**問** 当事者には、「あなたは大切な存在である」というメッセージを繰り返し伝えることが重要であり、当事者を支える家族も大切である。取組や考えは。

**答** 当事者を支える家族への支援も重要である。ワンストップ窓口で寄り添う支援を推進する。



地域を明るく照らす民生委員

## 問 衛生センターの 汚泥堆肥化は

### 答 堆肥の安定的な製造に懸念



むらかみ たかし  
村上 孝 議員

**問** 衛生センターで発生する汚泥を活用し、堆肥化すべきでないか。

**答** 本村は下水道の普及率が9割を超え、し尿や浄化槽汚泥は先々減少が見込まれる。また、堆肥化施設の建設に地元の理解を要するほか、老朽化した衛生センターの大規模改修に加え、新たな堆肥化のための施設整備と、それに伴う業務委託に多額の費用を要するなど課題が多いと認識している。

**問** 新川を2級河川へ昇格する進展は

**答** 2級河川への延伸を引き続き要望

**問** 新川の重要性は、治水管理や周辺市の農業用水利用の観点からも本村の立場は明確。何故、2級河川への昇格が進まないのか。

**答** 村からの要望を受けて、県において2級河川指定区間の改修を優先に進めている。しかし、用地交渉が難航し事業の進捗が滞っており改修に時間を要すると伺っている。2級河川延伸については、県への要望活動を継続していく。



汚泥から製品化された堆肥  
(大宮地方広域衛生センター)





## 問 村の価値を高める 自治会支援は

答 様々な意見を傾聴して再興を図る



新政とうかい  
みかみ おさむ 議員  
三上 修

**問** 自治会は「身近な問題の解決にあたる住民自治組織」と定義されている。自治会の業務は多岐にわたるなか、退会者が続出し役員のなり手も減少して運営に支障を来している。村内では課題の気づきを促すために、村の幹部や部課長を招いて勉強会を行うとか、持続可能な社会形成を目指して通学路の見守りや沿道の花壇整備を行うに丸投げせず自ら行う自治会もある。

**答** 東京都では自治会の活動がまちの価値を高めるとし、積極的な取

り組みがなされているが本村の対策はいかに。  
**答** 村では自治会活動を持続可能なものとするため、自治会加入の支援や負担軽減に取り組んでいる。村政懇談会などを通じて負担軽減に向け方向性や具体策を検討する。



所轄消防本部の指導による村内自治会の消火訓練

また、防災の視点からの入会の必要性や重要性を再確認していた。また、防災の視点からの入会の必要性や重要性を再確認していた。また、防災の視点からの入会の必要性や重要性を再確認していた。

## 問 デジタル社会での 個人情報保護は

答 適正な管理・指導をしている



光風会  
えだ いつむ 議員  
江田 五六

**問** 最近のデジタルの急激な普及で、全国的にトラブルが多発している。本村におけるICTシステムの利用実態は。

**答** 業務を効率化するため、人手不足・業務支援としてあらゆる行政分野を通して70件のICTシステムを導入し、活用している。また、村公式SNSやのび子育て帳などの情報発信系\*アプリのほか、児童・生徒の出欠確認等にアプリを活用している。

**問** 小中学校・保育所でのアプリの利用方法

や個人情報の保護対策について伺う。昔からの言い伝えとして、「千里の堤もアリの一穴から決壊する」という言葉がある。村民の個人情報保護には十分な指導と対策が必要。

**答** 安全性に問題がないことを十分確認した上で「健康確認アプリ」を導入。児童生徒の健康状態や出欠確認等の一元的な把握・管理に活用している。学校に対し、運用会社のセキュリティについて定期的に確認や、IDパスワードの適正な管理・指導をしている。



情報洪水による個人情報の被害  
適正な管理が必要

## 問 ネーミングライツの導入は 答 課題を整理し導入の可能性を探る



新政とうかい  
とび た しずき  
飛田 静幸 議員

**問** 村では公共施設等総合管理計画を改定し、ネーミングライツの導入を掲げている。ネーミングライツとは、通称を施設などの名称として使用する代わりに命名料を支払うものであり、収入は施設の維持管理費などの財源に充てられている。茨城県では県有164施設のうち18施設にネーミングライツを導入し、命名料の年間総額は4,916万円になる。村の導入計画は。

**答** 村として具体的な計画はないが、財源の確保や施設の魅力向上

等のメリットがある一方、施設名称に愛着を持つ地域住民への配慮や正式名称と愛称の使い分けなどの課題もある。既に導入している茨城県や水戸市などの事例を参考に、課題を整理し導入の可能性を探る。

**問** 東海中央地区内に整備している神楽沢近隣公園の維持費軽減のために、導入を考えるべきと思うが見解は。

**答** 開園後の維持管理費はネーミングライツを含め財源確保の取組を検討し、財政負担の軽減を図る。



整備中の神楽沢近隣公園イメージ図

## 問 駅西区画整理の清算状況は 答 着実に清算業務を行っていく



新政とうかい  
ます い ふみ お  
舂井 文夫 議員

**問** 東海駅西土地区画整理事業については50年間に及ぶ事業であった。駅西第二、駅東は元々の地権者が少ないため相続などの問題が少なかったが、駅西地区は相続をしていない関係地権者が多いと思われるが、清算状況はいかに。

**答** 駅西地区は令和4年3月11日に換地処分公告となり現在、清算業務を実施している。清算業務の状況としては、土地や建物の区画整理登記及び保留地の表題、保存などの登記が5月末までに完了し

た。保留地の権利移転登記は、全73件中32件、43%が完了した。徴収交付清算金業務は、8月31日現在で徴収事務及び交付事務の約8割が完了した。相続などは、主に交付事務の作業となり、所有者の死亡などにより現在までに40名の地権者に変動があり、相続人調査の結果、131件となった。仮に相続人が確定できない場合は、最終的には水戸地方法務局への供託となる予定である。今後も、着実に業務を遂行していく。



東海駅西口広場



## 問 東海第二の再稼働とは どの時点か

答 整理して6市村で共通認識を持つ

**問** 岸田首相は8月24日のGX実行会議で「東海第二原発も含めて来夏以降再稼働を加速させる」と発言。地元で理解なしに再稼働はできない。6市村共通の認識が重要と考えるが、東海第二の再稼働とはどの時点を言うのか。

**答** 再稼働の定義や燃料装荷と事前了解の考え方・解釈については、現時点では首長懇談会として統一した考えはない。何れかの時点で意見交換や議論を通して整理し共通認識を持つ必要があると考える。

**問** 原子力規制委員長



おおな みえこ 議員



首長懇談会で議論されている東海第二発電所

が「新基準適合とは、絶対安全を保障したわけではない」旨の発言をしている。規制委員会の審査に合格した原発の説明を聞くだけでなく、新協定の協議会を有意義にするために、6市村として専門家等の意見聴取が必要なのではないか。

**答** 専門家等の技術的な意見を伺った場合に、技術論からその正否を判断することは困難と考える。当面は、事業者の安全対策の取組や県のワーキングチームの検証状況などを注視していく。

## 問 面積変更の 計画策定への影響は

答 一から作り直す状況とはならない

**問** 本村の広域避難計画の策定には、これまでの訓練や10月に実施する守谷市との訓練を通し確認・検証結果が順次反映され、現状の計画(案)から正式な計画の公表に向けて近づいたと感じている。一方で茨城県では、感染症対策などを踏まえ、避難所の面積を拡大することなどが議論されている。避難所における1人当たりの面積が変更となった場合の計画策定への影響は。

**答** 避難所における1人当たりの面積の変更については、検



新政とうかい  
かわの けんいち 議員



避難所風景 (防災講習)

討・調整中と認識しており、今後、見直された際には、割り振りの見直し作業も必要になると考えている。一方で、東海村広域避難計画(案)に定めている事項や基本的な考え方を変更する必要はなく、また、避難先自治体である取手市、守谷市、つくばみらい市の3市が本村の避難先から除外されることはないと考えているため、割り振りの変更を行う場合であっても、一から計画を作り直す状況とはならないものと考えている。

## 表紙写真の紹介



### 未来へ

コロナ禍により、発表の場を失っていた皆さんが練習成果を披露されました。キレイのダンスから若い皆さんの躍動感が伝わってきました。今後も未来に向け技に磨きをかけ頑張ってください。



## 傍聴から はじめよう!

どなたでも傍聴できます。役場議会棟2階にお越しください。(受付は30分前から)

傍聴の定員は  
**20名**

(感染症対策で人数を制限しています。)

## 12月定例会日程(予定)



| 期日        | 時間     | 内容   |
|-----------|--------|------|
| 12月 1日(木) | 午前10時～ | 開会   |
| 12月 9日(金) | 午前10時～ | 一般質問 |
| 12月12日(月) | 午前10時～ | 一般質問 |
| 12月13日(火) | 午前10時～ | 一般質問 |

| 期日        | 時間     | 内容      |
|-----------|--------|---------|
| 12月14日(水) | 午前9時～  | 予算決算委員会 |
| 12月15日(木) | 午前10時～ | 予算決算委員会 |
| 12月20日(火) | 午前10時～ | 議案審議    |

※日程は変更になる場合があります。  
 ※開会・一般質問・議案審議は、議会棟2階の議会事務局窓口で住所・氏名等を記載するだけで、どなたでも傍聴できます。



4年ぶりの開催、大空マルシェ



高校生会による読み聞かせ

## マイストーリー SNAPSHOT Vol.3

### 【村内イベント】

村内の風景などをご紹介します。たくさんのご応募ありがとうございました。



青空の大空マルシェに赤い幌馬車



即席のダウンジャケット作りました



中丸自治会の芋掘り

## みなさんの「四季の思い出」写真を募集します。

〈応募方法〉メールまたは郵送でご応募ください。  
 〈郵送先〉〒319-1192 那珂郡東海村東海 3-7-1 東海村役場議会事務局  
 〈応募条件〉村内在住・在勤の方 〈必要事項〉①写真 ②応募用紙(議会ホームページからダウンロードできます。)  
 〈メール先〉gikaijimu@vill.tokai.ibaraki.jp 〈募集期間〉令和4年12月26日まで



令和4年10月発行 ●発行/東海村議会 ●編集/議会報編集委員会  
 ●〒319-1192 茨城県那珂郡東海村 東海三丁目7番1号  
 ●TEL 029-287-0844 ●FAX 029-287-2305  
 ●東海村議会ホームページ https://www.vill.tokai.ibaraki.jp/tokaimuragikai/

|              |           |               |               |               |                |
|--------------|-----------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| 議会報<br>編集委員会 | 委員長<br>委員 | 植木 伸寿<br>村上 孝 | 副委員長<br>恵利 いつ | 三上 修<br>河野 健一 | 吉田 充宏<br>笹嶋 士郎 |
|--------------|-----------|---------------|---------------|---------------|----------------|

